

# ほけんだより

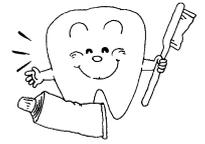
練馬区立豊玉東小学校

平成29年5月23日

保健室

6がつ ほけんもくひょう  
6月の保健目標

は たいせつ  
歯を大切にしよう



先週から夏のような暑い日が続いています。体調を崩している人はいませんか。6月からはプール（水泳指導）も始まります。体調を整えて元気に参加できると良いですね。

6月8日（木）から5年生の移動教室の引率で保健室を留守にします。その間、看護師の方が在室してまいります。よろしくお願いいたします。今号は感染症情報を主にお伝えします。

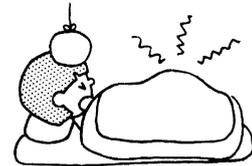
## 《感染症情報》

5月の「ほけんだより」でもお知らせいたしましたが、まだ引き続き、胃腸炎症状や熱による欠席が見られます。近隣でも感染性胃腸炎の流行やまだインフルエンザBが出ている区内の学校の情報も聞かれます。

豊玉東小でも5月第2週頃より、熱、頭痛、嘔吐、下痢、腹痛、等による欠席が目立っています。熱は、38～39度と高熱が出るケース。急な頭痛に始まり、熱、胃腸炎症状になるケースが聞かれます。感染性胃腸炎のなかにはロタウィルスの診断を受けた子も数人います。

今週は1・4年生が熱、胃腸炎症状による欠席が数人見られます。1年生は5月第2週に入ってからずっと、胃腸炎症状による欠席が数名います。

体調が悪いときは無理をせず、早期に受診してください。



## 《ロタウィルスについて》

潜伏期は1～3日。2～3月が最も発生が多い。感染力が強く、主な症状は、はげしい嘔吐、下痢、腹痛、高熱。便の色が白い。

他のウィルス性胃腸炎に比べて下痢や嘔吐の症状がはげしいことが多く、乳幼児をはじめ子供に多い急性胃腸炎を起こす感染症で、成人は軽症か症状が出ない場合もあります。発症後、2～7日で症状は治まりますが、脱水やまれにけいれんや脳症を合併することがあるので、小さな子供は注意が必要です。再び感染することもあります。通常2度目は重症になりません。

## 《予防と早期受診を》

感染性胃腸炎とは、主にウィルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウィルスには、「ノロウィルス」、「ロタウィルス」、「サポウィルス」、「アデノウィルス」などがあり、主な症状は腹痛・下痢・嘔吐・発熱です。

これらの胃腸炎は、ウィルスの種類によって異なる治療が行われることも通常ないため、ウィルス検査を行うことなく、流行状況や症状から「感染性胃腸炎」として診断されることがあります。

感染予防には、まず1人1人が手洗いをきちんと行うことが大切です。特に排便後や調理、食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

